3-⑧ いきいきとした生への招き

<いきいきとした生への招き>

-感じとる心の大切さ

古代ローマの哲学者エピクテトス（乳）の深い智は、弟子の一人、アリアノス（ごーという軍人の慧い心のおかげで今日に伝えられ、われわれも学ぶことができる。アリアノスはローマ帝国の軍司令官であり指導者であった

心には、われわれが理解しなければならない奇妙な一面がある。条件づけられた心は、秘教的な知識の価値が到底分らない。秘教的な知識は、鳴りの自己にもとづいて生きている人には、たんに存在しないにひとしい。小さ

受容性とは、たんに秘教的なアイディアについて読むことではない。講座に出席することでも、授業の単位をとることでも、他人に教えることでもない。こうしたことを何年も続けていて、しかも彼ら自身の内部のたったひ

受容性は、これらとはまったく異なるなにかである。それはあなたの価値観を変え、あなたの霊性を高める内的プロセスである。それは虚よりも事実を愛し始めつつある心の境地である。それはあなたが現在この瞬間の、あ

改らはまた真理を知らん、しかして真理は次らに自由を得さすべし。（ヨハネ伝八章三二節）

新約聖書は、息子の特実に出してほしいと丁重な招待状を送った王様の家話を認している。（マタイ伝二）王の下僕は国中に招請を触れて回わったが、応じた人はひとりもなかった。人々はそれぞれに言訳をした。あるもの

今日、われわれは同じ状況を見るのに遠くを眺める必要はない。生気あふるる人生への招きは、現代人にとって新約聖書の啓え話にある招請に劣らず温いものである。だが抵抗は同じように多数ある。抵抗の言訳をすとし調

しかしそれはとても難しい。

1難しいということを不可能と取ってはなりません。

わたしは既に一生を貫く情念をもっています。

1正直にいって、今振り返ってそれがあなたに何をしてくれましたか?

わたしにはどうしていいか分らないのです。

気をだしてあなたの固定観念を楽ててしまいなさい。

しかし秘教的アイディアは効果がありません。

実際にやってみなくてどうしてそんなことが分ります?

しかしこれらのアイディアはみんな愉快な日々を送るという願いに反しています。

あなたは愉快な日々を送っていますか?

わたしはもう、あまりに深い穴にはまりこんでいるのです。

どんなに苦しい状況からでも這いのぼることができます。

わたしはもう誰の助けも、何ものも、要りません。

あなたは、枕に頭をつけて独りでいるときにそう言えるのですか?

だけどどこからスタートしたらよいか分らないんです。

自分自身への無暴なまでの正直さから始めるのです。

しかし本当にまったく新しいなにかがあるのでしょうか?

–あなたは、もう薄うす感づいていないかぎりそんなことは訊きはしないでしょう。

Revision #2
Created 17 October 2024 08:10:56 by ゆう
Updated 27 October 2024 05:49:59 by ゆう